

経済データで見る「最近の世界経済動向(2012年11~2013年1月)」

* 青字は悪化指数、%は前年比 2013.1.20.現在 日本機械輸出組合

	2012年11月	2012年12月	2013年1月	最近の経済動向
世界	-ドバイ原油1日 107 ^{ドル} 21日 103.8 ^{ドル} -10月:世界半導体売上 2.3%減	-ドバイ原油1日 108.4 ^{ドル} 17日 104.7 ^{ドル} -11月:世界半導体売上 2%増 17ヶ月ぶり+	-12年:デジタル家電販売前年比 1%減 -12年:PC 世界出荷 3.2%減 -13年:GDP:世銀:世界 2.4、日 0.8 米 1.9 欧 0.1 減、中 8.4、ブラジル 3.4 国連:世界 2.4 日 0.6 米 1.7 欧 0.3	・欧州経済低迷、同地域向け輸出が減少。 米経済は消費堅調で回復傾向持続。中国経済は減速も成長維持。インドネシア、インド、ベトナムは 5%程度、タイ 3%台の成長。我が国経済は輸出不振等でマイナス成長。
日本	-政治:16日衆議院解散 12/16選挙 -財政・金融:30日経済対策第二弾閣議決定 8,800億円 -株価:13日 8,637、30日 9,483 -雇用:シャープ早期退職 2,900人、10月:失業率 4.2%横 -所得:冬ボーナス 4.4%減 -消費:10月:小売業販売 1.2%減、車販売 5.7%減 2ヶ月 -受注:10月:機械 6.9%減、工作機械 6.7%減 -生産:10月:鉱工業 4.5%減、前月比 1.8%増 -貿易:10月:輸出 6.5%減、入 1.6%減、欧日 EIA 交渉決定 -収益:7-9月:経常益:上場企業 8%減、製造業 21%減、4-9月:純益:丸紅 2%増 1,053億円、最終損:ソニー 401億円、沖 67億円、今3月期:純益:トヨタ 2.8倍 1兆円、日産 6%減、三井物産 26%減 3,200億円、オクマ 28%減、パイオニア 73%減、経常益:上場企業 6%増、三菱重 4%増 900億円、ニコン 16%減 750億円、最終益:ソニー 200億円、最終損:パナソニック 7,650億円、シャープ 4,500億円、 -投資:10月:機械受注民需 1.2%増、製造工業稼働率前月比 1.6%増、12年度:16%増、海外 45.3%増	-景気等:17日自民党大勝政権交代、10-12月:製造業景況感-12二期連続悪化、 -財政・金融:20日・日銀追加緩和と国債等買取 10兆円増額、物価上昇率目標検討 -株価:1日 9,446、28日 10,393 -雇用:11月:失業率 4.1% 0.1ポイント低下 -所得:冬ボーナス 3.1%減 -消費:11月:小売業販売額 1.3%増、新車販売 0.4%減、新設住宅着工 10.3%増 -生産:11月:鉱工業 5.8%減、前月比 2.2%減、車生産 8.4%減 76.7万台、 -貿易:11月輸出 4.1%減、輸入 0.8%増、赤字 9,534億 ^{ドル} 、経常赤字 2,224億円 -受注:11月:工作機械 20.7%減 機械受注前月比 3.9%増 -収益:11月期:純益:不二越 54%減、 -投資:今後3年間:コマツ 300-500億円国内効率化投資	-財政・金融:緊急経済対策決定:事業規模 20兆円、雇用 60万人増 -株価:8日 10,495、15日 10,913 -雇用:17日ルネサス 3千~4千人削減 -消費:12年:新車販売 27.5%増 リーマンショック前回復 -貿易:17日:1 ^{ドル} 90円台 2年7ヶ月ぶり円安 -受注:12年:工作機械大手 8社 8.6%減	(前々月)・GDP7-9月は 3.5%減とマイナス。失業率高位横這。消費は低迷。車減少、住宅回復兆し。輸出は円高是正傾向も大幅減少続く。受注・生産も減少。投資は低い伸び。経常益 7-9月はマイナスへ、自動車、産業機械は回復傾向、民生電子、通信機器は不振。株価は回復傾向。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料 (前・当月)・GDP7-9月は 3.5%減とマイナス。失業率やや低下。消費底入れの兆し。車落込幅縮小、住宅回復傾向。輸出は円高是正傾向も減少続く。受注・生産も減少。投資は低い伸び。経常益 7-9月はマイナスへ、自動車は回復傾向、民生電子、通信機器は不振。円高是正、金融緩和と政策、経済対策で株価は回復傾向。景気回復、雇用拡大が課題。貿易収支の赤字が懸念材料
アジア・大洋州	-株価:上海 5日 2109、30日 1974 -中国:7-9月:純益:レノボ 13%増、格力 57%増、三一重 66%減、10月:製造業景況感 50.2、0.4ポ上昇、輸出 11.6%、入 2.4%増、工業生産 9.6%増、個人消費 13.5%増、新車販売 5.3%増 160万台、1-9月:可処分所得 13%増 -韓国:金利据置、輸出 1.1%増、7-9月:GDP前期 0.1%増 -台湾:7-9月:GDP 1%増 2四半期ぶり+、純益:UMC 24%増、広達 19%増、アスス 43%増、最終損:奇美 101億円、10月:輸出 1.9%減、海外受注 3.2%増スマホ部品 -東南アジア:10月:新車販売 58%増 33.2万台 -フィリピン:7-9月:GDP 7.1%増 7割消費好調 -インドネシア:賃上げ要求高まる、9月:新車販売 28%増、7-9月:GDP 6.2%増、消費 5.7%増、10月:輸出 10.8%増、赤字 15.5億 ^{ドル} 、消費者物価 4.6%、新車販売 24%増 -タイ:18TPP参加、7-9月:GDP 3%増、10月:自動車生産 5.1倍 25万台、減税駆け込み、前年洪水 -インド:31日預金準備率引下げ、7-9月:GDP 5.3%増、消費 3.7、政府 8.7、資本形成 4.1、輸出 4.3%増、営業利益:大手企業 2%減、タタ 9.9%増、10月:鉱工業生産 8.2%増、車販売 27%増 31万台、インフレ率 7.45%	-アジア GDP:12年:アジア 6、中国 7.7、インド 5.4、 -株価:上海 4日 1951、28日 2213 -中国:11月:工業生産 10.1%増、小売売上高 14.9%増、新車販売 8.2%増 179万台、製造業景況感 50.6、0.4ポ上昇、輸出 2.9%増 輸入横這、消費者物価指数前年同期 2.5%増 1-11月:固定資産 20.7%増 -韓国:11月:輸出 3.9%増、輸入 0.7%増 -台湾:TSMC 4,300億円投資スマホ等システム LSI、11月:鉱工業生産 5.9%増、輸出額 0.9%増スマホ半導体 海外受注高 11.1%増 -東南アジア:賃上げ:ジャカルタ 44%増、タイ 4~9割、ノイ 1月 7,800→9,165円、11月:新車販売 98%増 -タイ:11月:自動車生産 11倍 25.6万台 前年洪水反動 -インド:19日・政策金利年 8%据置、11月:工業生産 0.1%減、新車販売 1%増 28.8万台、卸売物価 7.2%増	-アジア GDP:12年: シンガポール 1.2% -株価:15日 2321、18日 2297 -中国:12月:輸出 14.1%増、入 6%増、新築価格 10~15%上昇、10-12月:GDP 7.9%増、12年:GDP 7.8%増、輸出 7.9%増、輸入 4.3%増、新車販売 4.3%増 1930万台 -韓国:12月期:営業益:サムスン 86%増 2.4兆円スマホ、半導体、パネル、12年:GDP 2%増、輸出 1.3%減 -台湾:12月:輸出 9%増、10-12月:純益:TSMC 32%増 1280億円、HTC 91%減、12年:輸出 2.3%減 -タイ:12月:新車販売 4%減 27万台、12年:対内投資 63%増 1.9兆円 -ベトナム:12年:GDP 5%、車販売 33%減 -シンガポール:GDP:12年 1.2%増 -インド:12月:新車販売 4%減 27万台、卸売物価 7.2	(前々月)・中国は 7-9月 GDP 7.4%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出回復傾向、株価底打ち傾向。韓国、輸出、投資底打ち傾向、消費で成長維持、企業好業績。台湾、輸出、生産底打ち傾向、企業業績明暗。インドネシア、ベトナム、マレーシア、フィリピン経済好調。タイ 3%台に減速。シンガポールは横這い。インド、5%台成長に鈍化、車販売、生産、輸出は回復傾向、物価再び上昇傾向 (前・今月)・中国は 10-12月 GDP 7.9%、投資・消費高水準維持、車販売、輸出回復傾向、株価底打ち傾向。韓国、輸出、投資底打ち傾向、消費で成長維持、企業好業績。台湾、輸出、生産底打ち傾向、企業業績明暗。インドネシア、ベトナム、マレーシア、フィリピン 5~6%成長。タイ 3%台に減速。シンガポールは横這い。インド、5%台成長に鈍化、車販売、生産、輸出は低下傾向、物価再び上昇傾向

北米	<p>-7日オバマ大統領再選 -景気:10月:製造業景況感 51.7、0.2ポ上昇 -財政・金融:14日FRB ゼロ金利 16年初めまでの可能性大、債務上限年内到達 -株価:NYダウ 6日 13,245^{ドル}、27日 12,878^{ドル}、29日 13,021^{ドル} -雇用:15日 TI 1700人削減、10月:失業率7.9%、0.1ポ悪化 17万人増 -所得:10月:個人所得前月比横這い -消費:10月:個人消費支出前月比 0.2%減、主要小売業売上5%増、新車販売 6.9%増 109万台、住宅着工 3.6%増危機前水準へ、住宅販売 17.2%増、 -生産:10月:鋳工業前月比 0.4%減 2ヶ月ぶり -貿易:10月:輸出 0.4%減、輸入 1%減 -収益:8-10月:純益:シスコ 18%増 1660億円、デル 47%減 380億円パソコン減少、最終損:HP 68.5億^{ドル}不正経理</p>	<p>-個人消費支出:11月:前月比 0.3%増 -景気:11月:製造業景況感 49.5、2.2ポ低下 -財政・金融:13日FOMC 失業率 6.5%までゼロ金利、長期国債買入 -株価:NYダウ 4日 12,951^{ドル}、19日 13,350^{ドル}、27日 13,096^{ドル} -雇用:11月:失業率7.7%、0.2ポ低下、14.6万人増 -所得:11月:個人所得 0.6%増 -消費:年末商戦 0.7%増低調、11月:個人消費前月比 0.4%増、小売売上 3.7%増、前月比 0.3%増、新車販売 15%増 114.2万台、住宅着工前月比 3%減、新築住宅販売 14.9%増 前月比 4.4%増 -生産:11月:鋳工業 1.1%増 -貿易:11月:輸出 2.3%増、輸入 2.8%増 -収益:9-11月:純益:オラクル 18%増</p>	<p>-景気:連銀「債務上限で個人消費慎重」、12月:製造業景況感指数 50.7、1.2ポ上昇 -財政・金融:2日財政の崖回避高所得者増税、19日債務上限 3か月分引上げ・2月危機回避 -株価:NYダウ 2日 13,369^{ドル}、18日 13649^{ドル} -雇用:12月:失業率 7.8%0.1ポ上昇、15.5万人 -消費:12月:小売売上高 4.7%増前月比 0.5%増、主要小売業 4.5%増、住宅着工 36.9%増、前月比 12.1%増、12年:新車販売 13.4%増 1,449万台 -収益:10-12月:純益:GE 8%増 3,600億円、インテル 27%減 2,220億円</p>	<p>(前々月)・GDPは7-9月 3.1%増で13期連続十。失業率高水準もやや低下。車・住宅販売好調、個人消費は堅調。投資は回復傾向もやや減速。輸出はマイナスへ。生産は鈍化傾向。企業収益 7-9月 1%減で13期ぶりにマイナス、企業により斑模様。株価は底打ち傾向。 景気回復の持続、高水準の失業率、財政の崖が懸念材料。雇用拡大が課題 (前・今月)・GDPは7-9月 3.1%増で13期連続十。失業率高水準もやや低下。車・住宅販売好調、個人消費は堅調。投資は回復傾向もやや減速。輸出は低調。生産回復の兆し。企業収益 7-9月 1%減で13期ぶりにマイナス、企業により斑模様。財政の崖回避で株価は回復傾向。景気回復の持続、高水準の失業率、財政の崖の今後が懸念材料。雇用拡大が課題</p>
欧州	<p>-GDP:12-13年:ユーロ 0.4%減→0.1%増、独 0.8→0.8、仏 0.2→0.4、伊 2.3減→0.5減、スペイン 1.4減→1.4減 -財政・金融:9日ECB政策金利 0.75%で据置、英 0.5%で据置、ギリシャ融資再開 20年債務 170→124%へ -景気等:10月:ユーロ景況感 84.5%0.7ポ低下 -株価:英 FTSE 6日 5,884、16日 5,605、29日 5870 -雇用:10月:失業率:ユーロ 11.7%0.1ポ悪化、独 5.4%、仏 10.7%、伊 11.1%、蘭 5.5%、スペイン 26.2%、ポーランド 10.4% -消費:10月:小売売上高:ユーロ 3.6%減、独 3.8%減、仏 0.7%増、英 1.9%増、スペイン 11.5%減、ポーランド 4.4%減、新車販売:欧州 5%減 93.5万台、独 0.5%、仏 7.8%減、英 12.1%、伊 12.4%減、スペイン 21.7%減、ポーラ 2.2%減 -生産:10月:鋳工業:ユーロ 3.6%減、独 3.8%減、仏 3%減、英 3.5%減、伊 6.2%減、蘭 3.9%減、スペイン 3.3%減、ポーラ 1.1%増 -貿易:9月:ユーロ 輸出 1%増、輸入 4%減、10月:ユーロ 輸出 14%増、輸入 7%増</p>	<p>-株価:英 FTSE 4日 5,869、19日 5,961、27日 5,954 -財政・金融:英:14年法人税引下げ 21%へ、7日政策金利年 0.5%据置 -雇用:11月:失業率:ユーロ 11.8%0.1ポ悪化、独 5.4%、仏 10.2%、伊 11.1%、蘭 5.6%、スペイン 26.6%、ポーランド 10.6% -消費:11月:小売売上高:ユーロ 2.6%減、独 0.9%減、仏 1.1%減、英 2.5%増、スペイン 9.6%減、ポーランド 2.7%減、新車販売:欧州 10%減、独 4%減、仏 19.2%減、英 11.3%、伊 20.1%減、蘭 26.4%減、スペイン 20.3%減、ポーランド 6.7%減 -生産:11月:鋳工業:ユーロ 3.7%減、独 3.0%減、仏 3.2%減、英 2.1%減、伊 7.6%減、蘭 1.1%増、スペイン 7.2%減、ポーラ 1.8%減 -貿易:11月:ユーロ 輸出 5%増、輸入 0%増</p>	<p>-株価:英 FTSE 4日 6,089、19日 6,154 -財政・金融:10日スペイン国際利回り 5%割れ -雇用:16日ルノー7,500人削減、11月: -消費:12月:自動車販売:欧州 16.2%減、独 16.2%減、仏 14.6%減、英 3.7%増、伊 22.5%減、蘭 6.2%増、スペイン 23%減、ポーラ 22.6%減、12年:新車販売:欧州 8.2%減、1,177万台、独 2.9%減、仏 13.9%減、英 5.3%増、伊 19.9%減、スペイン 13.4%減</p>	<p>(前々月)・GDP 7-9月は二期連続でマイナス幅。過去最悪の失業率で消費はマイナス幅拡大、自動車販売大幅減少続く。輸出は底打ち傾向。投資は停滞。生産はマイナス幅拡大。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様が総じて好調も斑模様、株価はやや回復兆し。信用回復、景気回復、雇用確保が課題 (前・今月)・GDP 7-9月は二期連続でマイナス。過去最悪の失業率で消費はマイナス幅拡大、自動車販売大幅減少続く。輸出は底打ち傾向。投資は停滞。生産はマイナス幅拡大。企業業績は自動車、医療機器関係が総じて好調も斑模様、株価は回復の兆し。信用回復、景気回復、雇用確保が課題</p>
中東ア	<p>-エジプト:25日新憲法巡り内政混乱、31日外貨準備危機的状況、IMF3800億円支援融資 -トルコ:7-9月:GDP 1.6%増</p>	<p>-トルコ:政策金利 0.25%引下げ年 5.5%へ</p>	<p>-エジプト:8日通貨急落</p>	<p>・主要国経済は政変沈静化で回復の兆し。太陽光、電力、水、石化プロジェクトに復興需要。中東情勢の安定化、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:29日、政策金利 7.25%で据置、10月:新車販売 22%増 34万台、7-9月:GDP 0.9%増、前期比 0.6%増、製造業不振</p>	<p>-ブラジル:7日、港湾設備に2兆円(14年から4年間) 11月:消費者物価上昇率 5.5%</p>	<p>-ブラジル:18日政策金利据置 7.25%、12年:消費者物価 5.84%増</p>	<p>・ブラジル経済は金融引締緩和で自動車等消費を中心に回復の兆し。メキシコ経済はやや減速も3%台成長。持続的成長が課題。</p>
露東欧	<p>-ロシア:10月:新車販売 5%増 25.3万台</p>	<p>-ロシア:11月:新車販売 0.4%減 24.3万台</p>	<p>-ロシア:12年:新車販売:11%増 293万台で過去最高</p>	<p>・ロシアは石油価格の高止まりも輸出やや減速、投資、消費に陰り、車販売マイナスへ、経済成長減速。持続的回復が課題。</p>